

## 資料8 コンサルタント技術者等へのアンケート

### アンケート記入要領

#### ■自然環境保全基礎調査のデータ利用に関するアンケート

##### ●アンケートの狙い

自然環境保全基礎調査で得られた成果・データ(報告書、地図類、データファイルなど)は、自然環境アセスメントや地域環境計画の策定、評価等、さまざまな場面で利用されています。皆様方の業務のなかでも、利用されたことがあると思います。しかし一方で、利用はしたものの、例えば“こういう形式のデータがあったらもっと良かった”というような、いわば課題が残ったケースや、利用しようと思ったが何らかの問題があって利用できなかったケース、さらには、期待していた内容の調査(データ)が見あたらなかったケースなどもあるかと思います。

そこで今回のアンケートでは、こうした「使ったけれども問題があった」、あるいは「使えなかった」という事例についてお尋ねし、問題点やニーズを把握して、今後の基礎調査の改善に役立てたいと考えています。

##### ●お聞きしたい内容

大きく次の2つに分けてお尋ねします。

- |                     |
|---------------------|
| I 使ったけれども、問題があったケース |
| II 使えなかったケース        |

I は、ある業務で基礎調査の成果・データを利用したが、

- ・できればこういうデータが欲しかった
- ・こういう形式のデータがあったらもっと使いやすかった
- ・こういう内容のデータだったら、より高度の解析ができた

などといった、課題や要望についてお尋ねします。

II は、結果的には使えなかったケースについてお尋ねしますが、つぎの2つに分けて伺います。

II-1: 基礎調査の中に、期待していた成果・データがあったものの、実際の利用の場面で何らかの問題があって使えなかったケース。

II-2: そもそも、期待していた調査が基礎調査のなかでは実施されておらず、必要な成果・データが見いだせなかったケース。

前者については具体的な問題点とどのように対処したかをお聞かせください。一方、後者については、どのようなデータを具体的に必要としていたか、また、それが基礎調査のなかには見あたらなかった結果、どのように対処したか、をお聞かせください。

##### ●記入方法

別紙の記入用紙をお使いください。用紙はつぎの2種類があります。

- I 基礎調査に関するアンケート(成果・データを使った場合)
- II 基礎調査に関するアンケート(使えなかった場合)

それぞれの用紙について、以下に用紙の上段の項目からご説明します。

#### < I 基礎調査に関するアンケート(成果・データを使った場合)>

- ・記入者所属・氏名: 記入された方の所属とお名前をお書きください。
- ・業務名(業務内容): 差し支えがある場合は、具体的な地名や事業名は伏せていただいて構いません。
- ・利用目的: なるべく具体的にお書きください。
- ・利用した成果・データ: 基礎調査の調査項目名をお書きください。
- ・利用(処理)の方法: 処理や加工の方法、作業方法等をお書きください。

・問題点: 成果・データを利用した際の問題点を以下の中から選択してください。

また、その具体的内容をお書きください(複数選択可)。

1. 正確性に欠けた
2. データ量が不十分だった
3. データが古かった
4. 使いやすい形になっていなかった
5. その他

・その他: 上記の欄に書ききれなかった、基礎調査に関する問題点や要望、提案などがあれば、簡潔にお書きください。

## < II 基礎調査に関するアンケート(使えなかった場合)>

・記入者所属・氏名: 記入された方の所属とお名前をお書きください。

・業務名(業務内容): 差し支えがある場合は、具体的な地名や事業名は伏せていただいて構いません。

・利用目的: なるべく具体的にお書きください。

・Case: 以下の2つのいずれかを選択してください

1. 基礎調査の中に、期待していた成果・データがあったものの、実際の利用の場面で何らかの問題があって使えなかった。
2. そもそも、期待していた調査が基礎調査のなかでは実施されておらず、必要な成果・データが見いだせなかった。

※以下の2項目は、Case1に該当する場合に記入してください。

・利用データ: 利用しようとした成果・データを、基礎調査の調査項目名でお書きください。

・利用(処理)の方法: 予定していた処理や加工の方法、作業方法等をお書きください。

・問題点: 結果として使えなかった原因となった問題点を以下の中から選択してください。

また、その具体的内容をお書きください(複数選択可)。

1. 正確性に欠けた
2. データ量が不十分だった
3. データが古かった
4. 使いやすい形になっていなかった
5. その他

・対処方法: 予定していた成果・データが利用できず、どう対処したかを、以下のなかから選んでください。

1. 予定していた集計・解析等をあきらめた。
2. 他の成果・データを利用した  
(代わりに利用したデータ名: \_\_\_\_\_)
3. 新たにデータを作成した。

※以下の2項目は、Case2に該当する場合に記入してください。

・必要としていたデータ: どのようなデータを必要としていたか(探していたか)、具体的にお書きください。

・対処方法: 期待していた成果・データが見あらず、どう対処したかを、以下のなかから選んでください。

1. 予定していた集計・解析等をあきらめた。
2. 他の成果・データを利用した  
(代わりに利用したデータ名: \_\_\_\_\_)
3. 新たにデータを作成した。

・その他: Case1、2に拘わらず、上記の欄に書ききれなかった基礎調査に関する問題点や要望、提案などがあれば、簡潔にお書きください。

以上

## I 基礎調査に関するアンケート(成果・データを使った場合)

記入者所属・氏名	
業務名(業務内容)	
利用目的	
利用した成果・データ	
利用(処理)の方法	<p>.....</p> <p>.....</p>
問題点	<p>1. 正確性に欠けた</p> <p>( ..... )</p> <p>2. データ量が不十分だった</p> <p>( ..... )</p> <p>3. データが古かった</p> <p>( ..... )</p> <p>4. 使いやすい形になっていなかった</p> <p>( ..... )</p> <p>5. その他</p> <p>( ..... )</p>
その他	

II 基礎調査に関するアンケート(使えなかった場合)

記入者所属・氏名		
業務名 (業務内容)		
利用目的		
Case		1. 実際の利用の場面で問題があつて使えなかった 2. 必要な成果・データが見いだせなかった
Case 1	利用データ	
	利用(処理)の方法	..... .....
	問題点	1. 正確性に欠けた ( ..... ) 2. データ量が不十分だった ( ..... ) 3. データが古かった ( ..... ) 4. 使いやすい形になっていなかった ( ..... ) 5. その他 ( ..... )
	対処方法	1. 予定していた集計・解析等をあきらめた。 2. 他の成果・データを利用した (代わりに利用したデータ名) ( ..... ) 3. 新たにデータを作成した。
Case 2	必要としていたデータ	
	対処方法	1. 予定していた集計・解析等をあきらめた。 2. 他の成果・データを利用した (代わりに利用したデータ名) ( ..... ) 3. 新たにデータを作成した。
その他		

利用した問題があったケース

No	シート No	利用目的	利用データ	利用(処理)方法	問題点					その他	ヒアリング先
					正確性	データ量	データ時期	フォーマット	その他		
101		植物標本のラベル作成	植物目録修正版							確認しながら利用	JWRC
202		アセス・文献調査	第1回~4回資料全般							問題点を踏まえて利用、目録の充実を望む	民間コンサル
303		猛禽類行動圏内の植生解析	植生図	植生図に猛禽類の行動圏をオーバーレイ						空中写真で補正、凡例を統合	民間コンサル
404		森林葉量の推定	植生調査ファイル(メッシュデータ)							メッシュ内で最も広い面積を占める群落で代表させる	民間コンサル
505		植生分布の把握	植生調査ファイル(GISデータ)							凡例表示がなかった(注:利用ソフト不明)	民間コンサル
606		アセス・地域概況調査	2回動植物分布図	他図面へ移写						動物の分布の正確な位置がわからない、地図の縮尺が小さい	民間コンサル
707		河川での魚類調査	2回河川調査報告書	調査対象区域内の生息種をチェック						量的な生息状況が不明、調査地点が限られていた	民間コンサル
808		アセス・地域概況調査	植生図	複数図幅の統合						植生図の図幅間での不整合、群落名の不統一	民間コンサル
909		植物相調査結果の整理	植物目録1987	調査結果のとおりまとめ						誤植が多い、印刷物とファイルの不整合、欠落多い、RDBの分類と異なる	民間コンサル
1010		船橋市の動植物分布調査	4回身近な生きもの調査(生きもの地図)	自己の調査結果と合わせ、動植物分布図を作成						誤認情報がある。プリントアウトに時間・経費がかかった	民間コンサル
1111		地域の動植物の概況整理	2回動植物分布図	他図面へ移写						動物の確認位置情報が不明確、公表資料としては古い、スケールが小さい、出版部数が少ない	民間コンサル
1212		猛禽類営巣地周辺の植生解析	植生調査ファイル(GISデータ)	営巣地周辺の植生凡例別面積の集計						現状と異なる	民間コンサル
1313		アセス・地域概況把握	2回動植物分布図	他図面へ移写						基礎調査の対象種=貴重種(重要種)とする向きがあるが、情報の使用方法が曖昧。非市販物の入手法が明瞭でない	民間コンサル
1414		動植物の既存情報収集	すぐれた自然調査/特定植物群落調査/動物分布調査	他図面へ移写(計画図へ位置をプロット)						具体的な位置情報が不明確	民間コンサル
1515		貴重種・注目種の分布状況把握	2回両生類爬虫類報告書/昆虫類報告書	報告書用地図へ移写						語感情報あり、分布の漏れ、調査時期が不明確	民間コンサル
1616		藻場の分布状況把握	4回自然環境情報図	情報図をGIS化、報告書のリストをDB化して、タイプ別分布図を作成						全国統一調査として価値があり継続を望む、電子データとして公表してほしい、GIS化、他省庁との連携が必要。	民間コンサル

利用した問題があったケース

No	シート No	利用目的	利用データ	利用(処理)方法	問題点					その他	ヒアリング先	
					正確性	データ量	データ時期	フォーマット	その他			詳細
17	17	港湾計画に伴う藻場分布状況把握	2回藻場・干潟・サンゴ礁報告書(全国版)	現地調査内容、方法の検討		×					「専門家ページ」閲覧が限定されている。自治体の最新情報とのリンクがあると便利。	民間コンサル
18	18	河川水辺の国勢調査	2回両生類爬虫類報告書	確認種の抽出			×				調査票をまとめた一覧があれば見やすい	民間コンサル
19	19	後志海域藻場の減少傾向の把握	4回藻場報告書	第2回と第4回の結果を比較し、藻場現存量の増減を調査		×					個々の藻場の消滅原因がわからなかった、説明が少なくわかりにくい	民間コンサル
20	20	貴重種の選定	1回及び2回のデータ(詳細不明)	希少種の抽出			×				メッセージが細かく、情報の抽出が困難、用語の定義が曖昧	民間コンサル
21	21	貴重種リストの作成	1回主要野生動物一覧	主要動物の抽出			×				“ホタル”などの曖昧な記述があった	民間コンサル
22	22	アセス、既存文献調査	3回鳥類報告書	調査対象地域のメッシュ内の種を抽出			×				メッセージが細かく、情報の抽出が困難	民間コンサル
23	23	貴重種の選定・抽出	哺乳類、昆虫類、鳥類、両生爬虫類(詳細不詳)	リスト作成		×						民間コンサル
24	24	現地調査のための資料収集	2回動植物分布図	分布図の作成			×				地図がみにくい	民間コンサル
25	25	分布の確認/貴重種の選定	1回及び2回のデータ(詳細不明)	分布域の把握、貴重種としての位置づけの整理		×					過去のものほど正確性に欠ける、凡例に統一性がでない	民間コンサル

指摘された件数: 11 8 11 14